



## 当別町の税金の徴収体制は大丈夫？

まちかどや会合で町の皆さんから町長へ寄せられた素朴な疑問や質問に対して、泉●町長の考えをお伝えするコーナーです。今回は、獅子内にお住まいの佐藤しげるさん、安房ノブイさん、お二方との対話から、税金や料金の滞納への質問です。

**問** 町の財政が厳しい中で滞納はどのくらいあるの？

**答** 税と料金で併せて7億1千万円の滞納額です。町の借金返済に充てるための負担が多い今、滞納は財政を圧迫させる大きな要因です。

**問** 何を滞納しているの？

**答** 固定資産税、町民税、国民健康保険税などです。その他に町営住宅の使用料などがあります。会社の倒産による失業、病気で仕事ができないな



どを理由に滞納になる場合がありますが、特別な理由もなく滞納している方も見受けられます。

**問** 滞納には、どのような対応をしているの？

**答** 滞納を放置してしまうと、住民の間で不公平感が増え、行政の信頼を失うので、例えば、休日・夜間などの訪問徴収、勤務先への照会を行っていますが、どうしても納税に応じていただけない人の場合には、給与、預貯金などがある人には平成17年からこれらの差押えを実行しています。



当別町長泉肇俊彦

多くの来場者で賑わった

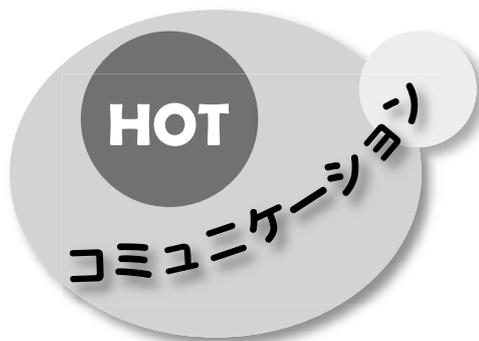
## JA&SUNキューフェスティバル

当別駅南口広場、当別大通りを会場にJA北石狩と商工会が共催してJA&SUNキューフェスティバルを開催。農協駐車場に設けられた販売コーナーでは、当別、厚田、浜益で収穫された野菜や切花がたくさん並びました。

また、当別駅前大通では、今回初登場でむかで&丸太きり競争が行われ、町内から腕自慢の9チームが参加し、7万円の商品券をかけて白熱した戦いを繰り広げたほか、7チームが参加してYOSAKOI演舞も披露され、元気一杯の踊りで見物客と一体となって盛り上がりました。

イベントには、3,500名が来場し職場仲間や家族連れで楽しんでいました。





### 開館 20 年のおめでとう会



当別こども図書館が会館 20 周年を祝おうと同館を会場に「おめでとう会」を開催しました。

同館は、子育て中の母親たちが開設し、児童書の貸し出しなどで子供たちから親しまれてきました。祝う会には、約 40 人が参加し、子供たちによる影絵芝居や子供時代に利用していた方の経験談の発表がありました。（7 月 28 日）

### オリジナル作品ができたよ



あえ〜るを会場に夏休み子供工作会の 3 回シリーズを開催。

7 月 31 日は高橋千枝子先生による陶芸、8 月 8 日は加藤郁子先生による夏野菜でのスタンプング、9 日は笹島スミ子先生による木工芸の教室に夏休み中の小学生たちが集まり、先生からコツを教わりながら器用に作品を仕上げていました。（8 月 5 日）

### 暑さを吹っ飛ばせ当別神社例大祭



当別神社、阿蘇公園を会場に当別夏の風物詩当別神社例大祭が開催されました。

15 日には、当別相撲国技会が主催して小学生から大人までが参加した相撲大会が行われ、観客からたくさんの声援をうけていました。また、恒例のみこしの夜間渡行が行われ「そいやー」「さー」の掛け声と共に約 60 人が代わる代わるみこしを担ぎ、市街地を練り歩きました。

境内には、金魚すくいやくじ引きなどの露店が立ち並び、参列者などで賑わいを見せました。

（8 月 13 日～ 16 日）

### 稚魚を放流元気に育てね



中小屋・金沢資源保全会が地域を活性化させようとフナやどじょうなどの稚魚を円沼へ放流しました。参加した約 100 名は「元気に大きくなってね」とやさしく放流していました。（8 月 19 日）

### 短冊に願いを込めて



本通振興会の呼びかけで、七夕の日に本通橋のたもとに西保育所と東保育所の児童 36 人が将来の夢を書いた短冊を飾りました。児童たちは、飾りつけをした木をいつまでも見つめていました。（8 月 7 日）

# 広告

Tobetsu

# ここが1番

## 水田発祥の地碑

当別の稲作は、明治5年に上  
当別で米の試作に成功したことから  
始まっています。

当時の開拓精神を伝えようと水  
田発祥の地碑が建てられました。



まちの郊外には、広大な水田  
が広がり、基幹産業にまで成長  
した稲作ですが、開墾当時には、  
先人の苦勞がありました。

当別で最初に稲作を試みたの  
は明治5年で、岩出山から移住  
者瀬戸勘三郎さんでした。この  
時は、田の沢の沢水を利用して2  
反歩（約19.8 a）の米の試作に  
成功しましたが、鹿の食害に遭



い、2年で中止になりました。

この試作を契機に町内各地に稲  
作が広がり、大正時代の大規模な  
造田に発展していきました。

この先人の苦勞を後世まで伝え  
ようと平成16年12月に水田発  
祥の地碑が建てられました。

黄金色に輝く穂を眺めながら当  
別の稲作発祥のルーツをたどっ  
てみてはいかがでしょうか。

### ◎田植え・収穫体験もできる

ここでは、地元小学生を対象に  
水土里ネット当別が主催して春に  
田植え、秋に収穫体験を実施して  
います。

農家の方から説明を受けながら  
田植え、稲刈りを学ぶことができ  
ます。



■ 人の動き 8月1日現在 ■  
( ) は前月との比較

人口	19,455	人	(11人減)
世帯	7,791	世帯	(1世帯減)
男	9,511	人	(1人減)
女	9,944	人	(10人減)

# 広告